

仰ぎて聖し わが学び舎

<https://hakubajh.ed.jp/>

白馬の魅力を確認。私たちに出来ることは何か？

11月11日(木)にSDGs国際フォーラムが行われ、今年は3名のシンポジストと15名の座談会ゲストの方々にお越し頂きました。最初のシンポジウムでは、自然環境を守るために白馬で活動をしている3名の方からお話を聞きました。白馬についての話に留まらず、世界規模でのお話をして下さり、全校の生徒たちはメモを取りながら話に聞き入っていました。

その後は2,3年生たちがグループに分かれ、各会場で座談会ゲストと英語でやりとりをしました。スライドを活用しながら、「白馬の魅力」や「それを守るために自分たちが出来ること」を英語で必死に伝えようとする姿や、ゲストの方と英語で質疑応答する姿がたくさん見られました。

中学生のときにこのような経験が出来たことは一生の財産になるはずです。英語でのやりとりの中で自分なりに得たことをこれから活かしていけるといいですね。

裏面に生徒たちからの感想を掲載します。ご覧ください。



白馬国際フォーラム 生徒の感想（部分抜粋）

「今の自分たちが動くことによって世界も変化していくから、自分たちが動くことが大切だと思った。」

「自然は人間が触れてしまうと崩壊してしまうという言葉がすごく印象に残りました。そしてまだ触れていない自然が白馬にはいっぱいあると教わったので、守っていきたいと思いました。」



「話し合うだけではなく、行動するのも大切ということをゲストの方が言っていて、確かに行動しなければ何も変わらないなと思った。」

「『この自然をどうやって守っていくの?』という質問をされて、英語で話せないから無理、というよりは、本当にどうやって守っていくべきなのだろう、と考えさせられました。」

「中学生である私たちが自分の未来を案じて考え、行動することはとても大切なことであり、子供たちが行動を起こすことで、大人たちを動かし変えることができるのだということを感じた。」

「私たちが出来ることを一つずつやっていけば、持続可能な社会は実現することが出来るのではないかと思います。」

「中学生に出来ることは大人に伝えること。中学生はまだ自由に何かを出来るわけでもないし、行動も出来ないから、大人に伝える、呼びかける。」

「『自然がないと白馬は成り立たない』という言葉聞いて、本当に雪は白馬にとって大切なものだから、地球温暖化は改善しないといけないなと思いました。」

「白馬だけでなく、世界的な問題についても触れられたので、改めて自分の行動を見直してみようと思えた1時間になった。」

「『きれいな水は人間が作ったのではなく、自然が作ったものだ。』という言葉にすごく納得しました。」

「相手の人が何を話しているか分かって、返す言葉が見つからなかったり、あいまいな答えを返してしまう部分もあったので、より明確に自分の意見を英語でも伝えられるようになりたいと感じました。」

「『白馬三山とは何か』という質問に答えられず、逆に教えてもらい、とても悔しい思いをした。」

「『誰でも英語は話せる』と言われて、自分も頑張って勉強しなきゃと思いました。」